

岩国市観光施設事業経営戦略

団 体 名	:	岩国市
事 業 名	:	観光施設事業
策 定 日	:	令和 3 年 3 月
計 画 期 間	:	令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適	事 業 開 始 年 度	昭和37年度
事 業 の 種 類	観光施設事業 (その他観光施設)	施 設 名	岩国城
職 員 数	1 人		
事 業 の 内 容	岩国城において刀剣類・郷土資料等を展示し有料で公開し岩国城の維持管理等の運営を行っている。		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	なし	
	イ 指定管理者制度	指定管理者制度(利用料金制)	
	ウ PPP・PFI	なし	
法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適	事 業 開 始 年 度	昭和38年度
事 業 の 種 類	観光施設事業 (索道)	施 設 名	岩国城ロープウエー
職 員 数	1 人		
事 業 の 内 容	岩国城などを観光される方の交通手段として料金を徴収してロープウエーを運行している。		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	なし	
	イ 指定管理者制度	指定管理者制度(利用料金制)	
	ウ PPP・PFI	なし	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	岩国城 大人:270円 団体大人:200円 小人(小学生):120円 団体小人90円	
	岩国城ロープウエー 大人片道:330円 大人往復:560円 団体大人片道:270円 団体大人往復:440円 小人片道:150円 小人往復:260円 団体小人片道:110円 団体小人往復:190円	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	平成10年4月1日	

(3) 現在の経営状況

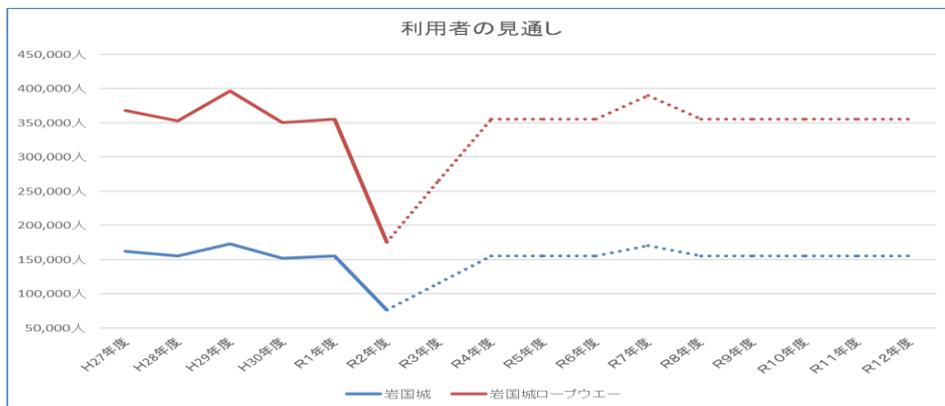
年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	H30 岩国城 索道 151,827人 349,950人	R1 岩国城 索道 155,680人 355,356人	R2 岩国城 索道 76,542人 175,548人
経常収支比率 (又は収益的収支比率)	H30 117 %	R1 238 %	R2 142 %
経費回収率	H30 117 %	R1 238 %	R2 142 %

観光施設運営事業特別会計は黒字となっており、今後も安定した運営を行っていく。

2. 将来の事業環境

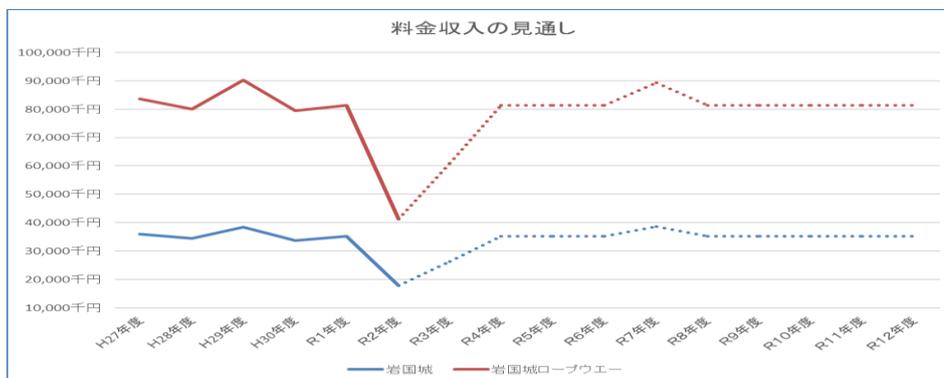
(1) 観光客数の見通し

過去の傾向から災害等の要因により一時的に落ち込むことはあるが、安定した観光客数を確保している。新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度は観光客数が半減することとなったものの、今後の感染の状況を注視しながら、激減したインバウンドに対する施策として、各種情報の多言語化やWifiの整備を実施し、観光客の獲得を目指す。



(2) 料金収入の見通し

大幅な増収は見込めないが、災害等の不測の事態や、大規模な工事などによる運休がない限りは、安定した料金収入が続くと見込んでいる。



(3) 施設の見通し

建設から50年以上が経過しており、施設の老朽化への対応及び設備更新が見込まれている。こうした状況に備え今後も基金の積立を行う必要がある。

施設の大規模改修計画については、令和3年度末に策定予定である公共施設個別施設実施計画に基づき検討を行う。

(4) 組織の見通し

指定管理者制度を導入しており、今後もこの制度を継続することにより、職員の増員は行わない。

3. 経営の基本方針

岩国城は岩国市総合計画【基本目標「空港を軸とした活力ある産業と観光のまち」】に位置付けられており、錦帯橋と並ぶ歴史的建造物であり貴重な観光資源である。この岩国城を後世に残していくため、適切な維持管理を行う。索道においては、岩国城へ行く交通手段として安全性を最優先し、必要な設備更新等を計画的に行っていく。設備更新の財源については、それまでに積み立ててきた基金等を充当する。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	岩国城ロープウエーについては整備計画に基づき施設の更新及び修繕を行っている。この整備計画を元に順次施設を更新していく。 岩国城及び岩国城ロープウエーの大規模改修工事については、令和3年度末に策定予定である公共施設個別施設実施計画に基づき検討する。
-----	--

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
1) 索条														
支索	平成18年交換													
緊張索	平成18年交換					交換								
曳索			切詰		切詰		切詰	交換(切詰)		切詰		切詰		切詰
平衡索			切詰		切詰		切詰	交換(切詰)		切詰		切詰		切詰
2) 受索装置														
受索輪			6枚交換	6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換
輪受			6枚交換	6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換
ゴムライナー			6枚交換	6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換		6枚交換
支索シューフレーム														
シュー														
曳索、平衡索誘導滑車						磁粉探傷	磁粉探傷				磁粉探傷	磁粉探傷		
曳索、平衡索誘導滑車用輪受			交換											
3) 搬器														
ランナー本体														
キヤリアランナー輪受						交換								
キヤリアフレーム					磁粉探傷					磁粉探傷				
ハンガー	平成18年交換				磁粉探傷					磁粉探傷				
搬器本体	平成22年交換													
4) 緊張設備														
重錘ガイドローラー														
シューチェーン														
二重引留装置														
5) 原動設備														
原動滑車				更新工事										
輪受				更新工事										
ゴムライナー				更新工事						ゴム交換				
遊動滑車	平成10年更新													
輪受				更新工事										
主電動機	平成29年更新										オーバーホール			
減速機	平成29年更新										オーバーホール			
6) 制動設備														
常用制動装置	平成29年更新													
常用制動油圧ユニット	平成29年更新													
非常用制動油圧ユニット	平成29年更新													
7) 電気設備														
インバーターコンバーター盤	平成29年更新													
制御盤(PLC)	平成29年更新													
運転盤(PLC)	平成29年更新													
概算工事費(単位:千円)		0	7,920	53,470	3,560	23,026	4,772	14,750	0	5,090	6,050	6,322	0	3,572

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	岩国城及び岩国城ロープウエーは指定管理者制度(利用料金制)であり、指定管理者納付金が主な収入となる。 今後、予定されている岩国城及び岩国城ロープウエーの大規模改修工事の財源として利用料金の見直しを検討する。
-----	--

岩国城及び岩国城ロープウエーは指定管理者制度(利用料金制)であり、指定管理者納付金が主な収入となる。
岩国錦帯橋空港を核に近隣の空港や観光地を結ぶ広域観光の促進を図るなど各種観光施策を行うことや御城印の販売等来場者へのサービス向上のための施策を指定管理者とともに実施することにより施設利用者の増加を図り、利用料金の増収を図る。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

指定管理者制度の継続により、民間のノウハウを活用して収益の確保と支出の抑制に努め、経常利益の向上に努める。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	指定管理者制度(利用料金制)の継続
投資の適正化	定期点検時に適切な維持管理を行い、単年度の集中的な投資とならないよう整備計画に基づき計画的に実施する。
その他の取組	岩国城及び岩国城ロープウエーの大規模改修工事の検討

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	大規模改修を行う場合、料金の改定を行う必要がある。
稼働率・利用者数	
企業債	公営企業債の活用を検討する。
繰入金	原則として一般会計からの繰入は行わない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	
その他の取組	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委 託 料	
管 理 運 営 費	
職 員 給 与 費	職員給与費の支出はなし。
そ の 他 の 取 組	

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	本市は山口県の東端に位置し、岩国錦帯橋空港、JR岩国駅や新岩国駅を有し高速道路へのアクセスも良好である。施設がある錦帯橋周辺は宿泊施設も備えた主要な観光拠点であり、上記のような地理的条件を活かして市内を訪れる観光客の周遊を図るために必要な事業である。
公営企業として実施する必要性	当該施設は岩国市の観光拠点である錦帯橋周辺に位置し、他の観光施設と連携して誘客を図るうえで重要な施設であり、総合的な活用を行うため公営企業として実施する。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	本経営戦略は10年間の計画とするが、年度ごとに進捗状況の確認を行う。 また、指定管理者更新時や大規模改修が必要なタイミングで経営戦略を見直すこととする。
---------------------	---